



資料館だより

No.28
2010年
1月号

過去と未来がひびきあう

—ようこそ、エコミューズへ。

www.aozora.or.jp/shiryou/

あおぞら
財団付属
エコミューズ

西淀川・公害と環境資料館

勇気づけられました 全史料協 福島大会でエコミューズの報告

2009年11月19日、第35回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国(福島)大会「わたくしたちのアーカイブズ—公文書と地域資料—」にて、西淀川・公害と環境資料館(エコミューズ)の活動報告を行いました(林美帆)。

この大会の副題に公文書と地域資料とあるのですが、エコミューズの活動



会場ようす

が民間アーカイブズの拡がりとして捉えられており「わたくしたちのアーカイブズ」にふさわしいと評価されました。

エコミューズには伝えるテーマがあるということ、まちづくりや教育の事業と共にあること、利用を常に念頭において活動していかなければ受け入れられないことなどなど、日々感じていることを報告しました。こつこつと活動していることを評価してもらい、とても勇気付けられました。資料館の問題として、利用がなかなか促進されないという課題があるのですが、学校教育や新聞などと協力して利用を促進している報告も聞けてとても参考になりました。これからもがんばっていこうと思います。

09年9～10月 西淀川図書館で展示とイベント 「菜の花プロジェクト」セミのぬけがらしらべ」

菜の花を育て、菜種油で燃料を作り、その燃料でバスを走らせようという「菜の花プロジェクト」を西淀川で実践しています。その活動の展示を昨年9月～10月に西淀川図書館でおこないました。



展示のようす

10月30日には、大阪市図書館フェスティバルの一環で、同図書館で廃油キャンドルづくりのイベントを開催しました。親子連れなど40人ほどが参加し、盛況に終えることができました。今後も地域の図書館と連携した活動ができればと思います。

ただいま エコミューズの要は資料整理。
資料整理中 現場から生の声をお届けします。

大阪から公害をなくす会資料受入れ ダンボール16箱！



いっぱい資料

大阪から公害をなくす会は、1971年2月27日に設立された団体です。

活動は、国・自治体への要求運動、被害者の救済・調査・研究・政策立案・学習、訴訟の支援、公害デー府民集会(現:公害環境デー)を毎年開催しています。

事務所が12月に移転することになったので、書籍や資料など16箱ほど受け入れました(2009.11.26)。現在、雑目録を作製中です。

資料を所蔵する場所がなくなってきているのが、エコミューズの最近の悩みです。



せっせと箱詰め作業中

四日市で活動紹介 四日市公害環境市民学校2009

2009年12月19日に四日市で西淀川公害と地域再生(おもに資料館について)お話ししてきました(林美帆)。

学校の先生の意見を取り入れて作った西淀川公害の展示パネルなどに興味を持ってもらえたようです。

同月20日の中日新聞朝刊に「公害伝え方逆輸入」と題して報じられました。



中日新聞 (2009年12月20日)

もりもとまきの アーキビストの目

★★★所蔵資料紹介★★★

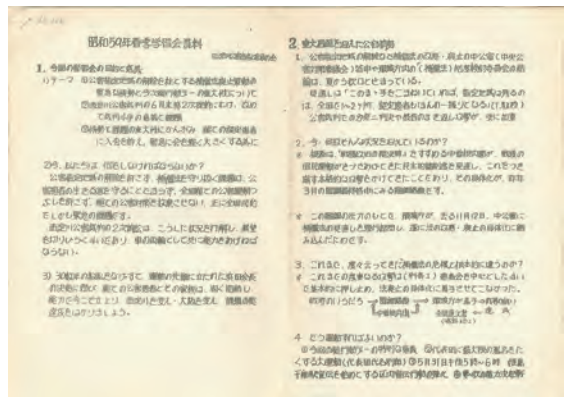
「公害指定地域」を守れ
—「西淀川公害患者と家族の会」
の学習会—

今回は「西淀川公害患者と家族の会 昭和59年度春季学習会資料」を紹介し（エコミューズ所蔵岡崎久女氏資料No.106）。

1974（昭和49）年9月、公害健康被害補償法が実施され、指定地域の公害病認定患者に対し、汚染原因物質の排出者から補償費が給付されることになりました。しかし企業にとってその

負担は重く、財界は政府に対し、その廃止を求める動きを強めていきました。そして'83（昭和58）年11月、環境庁は、解除を含めた指定地域の見直しを中央公害対策審議会に諮問するに至ります。

指定地域が解除されれば、補償費が給付されず、公害病に苦しむ被害者の生活が脅かされることとなります。その危機感のなかで、患者会は「昭和59年度春季学習会」を開きました。その際に配布されたこの資料には、「公害指定地域の解除を許さず補償法を守り抜く課題は、公害患者の生きる道を守るにとどまらず、全国総ての公害運動つづしを許さず、



補償法を守り抜くために、学び、考え、動く

総ての公害対策を放棄させない、正に全国的でしかも緊急の課題」とあり、政財界の動向や制度上の問題点を学び、これからの運動の進め方が話し合われました。後退する公害対策に立ち向かう、患者会の懸命な姿を伝える貴重な資料です。

ブログ版 <http://aazorabsw.exblog.jp/i11/>

アーキビストとは、文書や資料の収集・整理・保存に関わる専門家のことです。



西淀川公害

展示パネル貸出します。

公害 みんなで力をあわせて

—大阪・西淀川地域の記録と証言—

写真やイラスト豊富なフルカラー！
サイズは扱いやすいB2版！
ぜひ、ご利用ください。



B2版 (515mm × 728mm)
1セット13枚
フルカラー (2008年作成)



パネルの貸出

1. 貸出期間は1週間単位です。日・月単位ではおこなっていません。
2. 貸出料金は1週間2万円（税込）です。（学校利用の場合は相談に応じます）
3. 送料はお客様のご負担です。
4. ご請求・お支払はパネル返却後です。
5. 申込書（※）に必要事項を記入し、下記連絡先へ送付してください。

※申込書は、あおぞら財団ホームページ（<http://www.aozora.or.jp/shiryou>）からダウンロードできます。

編集後記

あけましておめでとうございます。
1面でご紹介したように、エコミューズの活動をお話させていただく機会が増えているようです。
「こんな資料館があるんだ」と知っていたことが、第一歩ですね。
どうぞ今年もよろしくお願ひいたします。(Y)

資料館だより No.28
2010年1月号(隔月1日発行)

発行所 あおぞら財団付属
西淀川・公害と環境資料館
(エコミューズ)

連絡先 大阪市西淀川区千舟1-1-1
あおぞらビル5F(〒555-0013)
TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885
Email: webmaster@aozora.or.jp
<http://www.aozora.or.jp/shiryou/>

お知らせ

エコミューズ活動資金
【ハモン基金】
寄付協力をお願い
エコミューズを支えてください。あなたの寄付金は青空へとつながります。
●寄付の方法
郵便局からお振込いただけます。また、直接エコミューズにお越しいただいても結構です。
【口座番号】
千円
【二口】十万円／一万円／千円
00960191
124893

【加入者名】あおぞら財団
※通信欄にハモン基金への寄付とご記入ください。
一口の金額は、お選びください。
ボランティア隊
「エコミュー★」募集
あなたも「エコミュー★」に入っちゃおう！資料整理や展示、イベントの手伝いなど、活躍の場がいっぱいです。
交通費●実費支給(上限2000円)
どうぞお気軽にお問い合わせください。



エコミューズは
青空を未来へ手渡す記録のひろば

西淀川の公害・環境、地域に関する記録資料や環境学習の教材・ビデオなどが豊富です。ぜひご利用ください
開館 ●月曜日、金曜日(祝日は休み)
10:00AM~5:00PM [要予約]
利用 ●図書・資料の貸出し期限は2週間
書庫資料や裁判記録は閲覧のみ